一般社団法人 富山県理学療法士会



会報

ヤ

ま

令和元年度

 \mathcal{N}_0 . 2

(通算154号)

総会員数894名(休会89名) 全192施設

今号の内容

第35回東海北陸理学療法学術大会 \cdots 1 大会長報告 第 2 報
理事会報告2~3
行事報告3~5
地区連絡会だより5~7
富山県理学療法士会組織図8
専門領域研究部紹介9~10

新入転入会員紹介11
研修会報告12~21
日本理学療法士協会からのお知らせ …21
リレーエッセイ22
インフォメーション23~26
賛助会員名簿・編集後記27



第35回東海北陸理学療法学術大会 大会長報告 第2報

第35回東海北陸理学療法学術大会 大会長 仲川 仁

皆さん、こんにちは。大会長の仲川です。学術大会の進捗状況の第2報をお届けします。 演題募集に対し、沢山のご応募ありがとうございました。県内からも50演題以上が集ま り、目標の200演題以上となりました。締切後に、査読会を行いました。平日の夜の開催 にも関わらず、60名を超える査読者の先生方にお集まり頂きました。準備委員会一同、感 謝いたします。査読会に先立ち、副大会長の酒井先生に査読ポイントの講義を行って頂き、 その後のスムーズな査読作業に移行できました。その結果を加味し、学術局総出にてプロ グラムの作成を進めました。

8月からは事前登録が開始されていますので、この「会報とやま」をお目にしている頃には、事前参加者は1,000名を超え、準備委員会は歓喜に沸いていることを想像しています。まだ、事前登録していない方は、日本理学療法士協会のマイページより速やかに申し込みをお願いします。学術大会の詳細はHPをご覧ください。Facebookのページも立ち上げていますので、リアルタイムに準備の様子を見て、シェアして頂ければ幸いです。

写真は毎月行われている準備委員会の様子です。毎回、1つ課題を克服するとまた新たな課題が波のように現れ、熱い議論を繰り広げております。



最後になりますが、東海北陸ブロックにおける多くの理学療法士が富山に参集し、本学術大会で多くの議論をし、今後の臨床業務に活かしてもらいたいと思います。県士会員全員で歓迎のほど、よろしくお願いします。

理事会報告

令和元年度 第1回 理事会報告(拡大役員会)

日 時: 平成31年 4 月20日(土) **場 所**: 富山医療福祉専門学校

出席者

理事:酒井 滝田 仲川 堀尾 宮原

石黒 中島 池田 山口 柴田

布上 城前 竹中 沼田 水上

監事:寺田 森田

部長:有島 木内 室崎 高田 中原

坂田 屋木 梅野 浦上 山村

永山

会計:田中 石川 伏木 森下 朝野

岡崎

地区代表: 若嶋 水野 加賀 京塚

米澤 坂井

相談役:なし

事務局:福田(書記)

【審議事項】

- 1. 平成30年度事業報告
 - ・資料に基づいて審議し、異議なし。
 - ・新人プログラム終了後、マイページで終 了手続きをしていない会員が多い。
 - ・参加者の少ない研修会は、地域の関連施設件数把握や求められるテーマなどをリサーチし、内容の再検討が必要ではないかとの意見あり。また、関連施設や参加対象者が少なくても必要な研修会は開催する必要があるとの見解も示された。
 - ・災害支援対策委員会より、緊急情報連絡 網の整備要請があった。現在、全会員へ 研修会案内用のメーリングリスト登録を 推進しているが、これを利用して災害緊 急メールの送付が可能であるとのこと。メー

リングリストへの登録を要請していく。

- 2. 平成30年度決算報告(事務局長)
 - 各事業計画通りに執行されている。

【報告事項】

- 1. 今年度理事会開催予定について (理事長、事務局長)
 - ・ 今年度から四半期ごとに決算および事業 報告を行う。
 - 定款を見直す予定である。
 - ・地区連絡会の活動を今以上に活発にし、 若い世代の意見を汲み取れるような代表 者を選定していきたい。
- 2. 今年度会計について(事務局長)
 - ・基本的には1事業ごとに予算仮払い申請を行うが、研修会や事業が多い部署については、四半期ごとに仮払い申請を行うこととする。
- 3. その他
 - 東海北陸理学療法学術大会準備委員会進 排状況報告
 - ・北陸3県役員交流会開催について、準備 進捗状況報告

令和元年度 第 2 回 理 事 会 報 告

日 時:令和元年 6 月29日(土)

場 所:富山県民会館

出席者:酒井 堀尾 滝田 仲川 宮原

石黒 中島 池田 永山 山口

柴田 秋元 布上 城前 竹中

沼田 梅野 中村拓人 水上

魚谷 中村太輔

【審議事項】

1. 業務執行理事の補充に関する件

業務執行理事(副会長)に、堀尾、池田が 選任され、全員一致をもって可決確定し た。

2. 組織体制

会長より、新組織体制についての案が説明された。管理者ネットワーク、スポーツ新事業、地区連絡会の再編について、意見交換がなされた。今後、継続して審議する。

令和元年度 第 3 回 理 事 会 報 告

日 時:令和元年7月27日(土)

場所:サンシップとやま

出席者:酒井 堀尾 滝田 仲川 宮原

石黒 中島 布上 池田 竹中

城前 山口 沼田 柴田浩之 水上

梅野 中村拓人 魚谷 中村太輔 秋元 永山 柴田孝博

書 記:有島 **監** 事:寺田

【審議事項】

- 1. 2019年度4半期
 - 1) 事業報告: 各局、各委員会より報告あり。『みんなの理学療法』の掲載基準や東海北陸理学療法学術大会の進捗状況等の報告がなされた。
 - 2) 予算執行状況:各局より報告。事務作 業費の記載方法について再度確認する こととなった。
 - 3)北陸3県理事会:今回は富山県が主催。2019年12月7日開催予定。
 - 4)政策調整委員会、女性理学療法士就労 委員会などの新たな創設を準備してい る。

行事報告

「令和元年度 士会オリエンテーション・ 新入転入会員歓迎会を終えて」

福利厚生部部長木内

令和元年6月29日(土)に、富山県民会館にて令和元年度の士会オリエンテーションおよび 新入転入会員歓迎会を開催致しました。当日は総会と同日開催ということもあり、たくさんの 先生方に参加いただきました。

士会オリエンテーションでは、県士会の各部局の局長・部長の先生方に各部局の士会における役割について説明して頂きました。新入転入会員の先生方も熱心に聞き入っておられ、今後 県士会活動に参加していくにあたって参考になったのではないかと思います。

今年度は、士会オリエンテーション→総会→新入転入会員歓迎会という流れで行ったため、 歓迎会では新入転入会員の先生方に自己紹介をしていただいた後は、軽食を食べながら交流を 深めていただきました。

今年度も地区別にテーブルを割り振り、地区ごとに新入転入会員・既会員が交ざって座っていただきました。地区ごとに先輩の先生方の話に聞き入ったり、久しぶりに会った同級生などと盛り上がったりする姿が見られ、よかったと思います。

たくさんの新入転入会員の先生方、参加していただきありがとうございました。県士会入会 $1 \sim 3$ 年目の先生方は福利厚生事業への参加費が安くなっていますので、ぜひ積極的に参加し

て、交流を深めていただけたらと思います。そうすることで経験年数の 多い先生方や自分と同じような環境 の中で働いておられる先生方に気軽 に助言をお願いすることができるようになると思います。

また、今年度は第35回東海北陸理 学療法学術大会が富山県で開催され ます。新入転入会員先生方の発表、 運営への積極的な参加をお待ちして います。



歓迎会の様子

「理学療法週間事業」活動報告

広報事業部 部長 山村 翔太

令和元年7月14日(日)にアピアショッピングセンターにおいて、理学療法週間事業として、理学療法(士)の紹介活動を行いました。理学療法(士)の宣伝用に県士会ロゴ、理学療法の日をプリントした風船を会場付近にて配布し集客を図りました。開催日が休日ということもあり、家族連れを中心に風船への反応は良く、数多くの方々に足を止めていただきました。

イベント内容としては、測定コーナー(血圧、握力、片脚立位時間、30秒椅子立ち上がり)、 相談コーナー(リハビリ・進路相談)を行いました。

測定コーナーでは血圧、片脚立位、握力、30秒椅子立ち上がりの測定をし、参加者の数値を 年齢別の平均値と比べ、生活・運動指導などを行いました。



測定コーナー

相談コーナーでは、進路相談やリハビリ 相談を受けました。進路相談では、高校生 のお子様を持つご家族から進路について複 数の相談を受け、将来理学療法士を志す高 校生の多さを実感しました。リハビリ相談 では、膝や腰の痛みなど整形外科的な痛み の訴えが多く聞かれたため、日常生活にお ける注意点などの指導を行いました。

会場にて広報物を配布していたところ、 通りがかりの方から声をかけていただける こともあり、理学療法(士)に対する職業 認知は徐々に高まっていると感じました。 今後は他県で開催している理学療法週間事業の取り組みを参考にしながら、より有効な啓蒙活動となるよう検討したいと思います。

最後になりましたが、今後とも士会員皆様の広報事業に対するご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



当日参加スタッフ

地区連絡会だより

富山中央地区

富山中央地区連絡会・懇親会

富山中央地区連絡会 代表 京塚 康平

令和元年6月29日(土)に「韓国料理と焼肉酒房とんコギ」にて、富山中央地区連絡会の懇親会を行いました。お忙しい中、10施設から17名の先生方が参加され、美味しい料理とお酒をいただきながら交流を深めました。

臨床経験3年以内の新人の先生方の参加が多く、地区連絡会の活動を知っていただく良い機



懇親会の様子

会となりました。交流機会の少ない他施設の 先生方の近況を聞いたり、情報を共有したり と、とても有意義な時間を過ごすことができ たと思います。

富山中央地区では年に2度、懇親会を開催 し、「顔の見える地区連絡会」を目標に活動し ていきます。

今回参加できなかった先生方の参加もお待ちしております。

富山北部地区

令和元年度 第1回富山北部地区連絡会

富山北部地区連絡会 代表 朝日 信裕

令和元年7月3日(水)に、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにて、第1回富山北部地区連絡会が開催されました。今回は研修会を企画し、講師として富山県立中央病院整形外科部長である丸箸兆延先生をお招きし、「膝関節を診る上で必要な視点~リハビリテーション介入に向けて~」というテーマで講演していただきました。北部地区施設以外からの参加もあり合計34名の方が参加されました。臨床場面からスポーツまで先生の多岐に渡るご



研修会風景

経験を、多くの映像を交えてお話いただき、参加者との活発な質疑もありとても有意義な時間でした。

第2回の富山北部地区連絡会は秋頃に懇親会を予定しております。多くのご参加をお待ちしております。

富山南部地区

令和元年度 第1回富山南部地区連絡会 活動報告

富山南部地区連絡会 代表 米澤 徹哉

今年度から富山南部地区連絡会代表を務めさせていただきます、訪問看護ステーションさわやかの米澤です。よろしくお願いします。

令和元年7月10日(水)、西能みなみ病院にて令和元年度第1回富山南部地区連絡会を開催しました。内容は、①富山南部地区の新人士会員の紹介、②各施設の職場紹介(富山大学附属病院、西能みなみ病院、介護老人保健施設みどり苑、友愛温泉病院)、③近況報告・情報交換会を行いました。

参加者は14施設26人と多数の施設からご参加いただ きました。職場紹介では、各施設の概要や特徴、現在



職場紹介(富山大学附属病院•石黒先生)

の取り組みなどを共有することができました。発表者との意見交換も活発に行われ、富山南部地区 内の繋がりをより深められたのではないかと思っています。



新人士会員の紹介

新人士会員の皆さんには、県士会および富山南部地区の活動への積極的な参加と協力を是非お願いしたいと思います。新人らしい若さ溢れるパワーと行動力で、一緒に県士会と富山南部地区を盛り上げていきましょう。

第2回の連絡会は、9月に懇親会を開催する予定ですので、多数の参加をお待ちしています。

高岡地区

令和元年度 高岡地区連絡会 新人歓迎会を終えて

JCHO高岡ふしき病院 **岡部 省吾**

今年度も4月より高岡地区に多くの新人の先生方が入職されました。高岡地区連絡会では令和元年6月21日(金)に歓迎会を開催し、各病院・施設から7名の新人の先生方が参加されました。新人以外の先生方も含め計31名の参加がありました。

新人の先生方からは趣味やネタの披露等を含めた自己紹介の場を設け、大変盛り上がりました。新人の先生方の自己紹介の時は「何かしないといけない」といった流れができてきているように思え、少しプレッシャーになっているかもしれません(笑)。ですが、毎回楽しみにしています。

また、新人以外の先生方からは新人の先生方に向けた、



参加者の皆様と



歓迎会の様子

紹介の時間もありました。同じ職場だけでなく、他の職場の理学療法士との『つながり』を今回の歓迎会をきっかけに築いていけたら良いと思います。

今回、歓迎会に参加し場を盛り上げて下さった皆様の おかげで、令和元年度高岡地区連絡会新人歓迎会を終え ることができ、大変感謝しております。

これからも皆で楽しく高岡地区を盛り上げていきたい と思います。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

高岡地区連絡会 研修会報告

高岡地区連絡会 代表 坂井 俊介

令和元年7月19日(金)に高岡市民病院の講義室にて、高岡地区連絡会の研修会を実施しました。 参加人数は、22名と想定していたよりも少ない参加者となりましたが、病院、施設と幅広い職場からご参加いただきました。

今回は、森永乳業グループ病態栄養部門(株)クリニコの正村綾華先生を講師に迎え、「フレイルと栄養について」のテーマでご講演いただきました。

近年、高齢化が進む中でフレイル・サルコペニアがより一層注目されている中で、その診断基準やアセスメントの方法、リハビリテーション栄養の考え方、栄養面のサポート方法について詳しく説明していただきました。



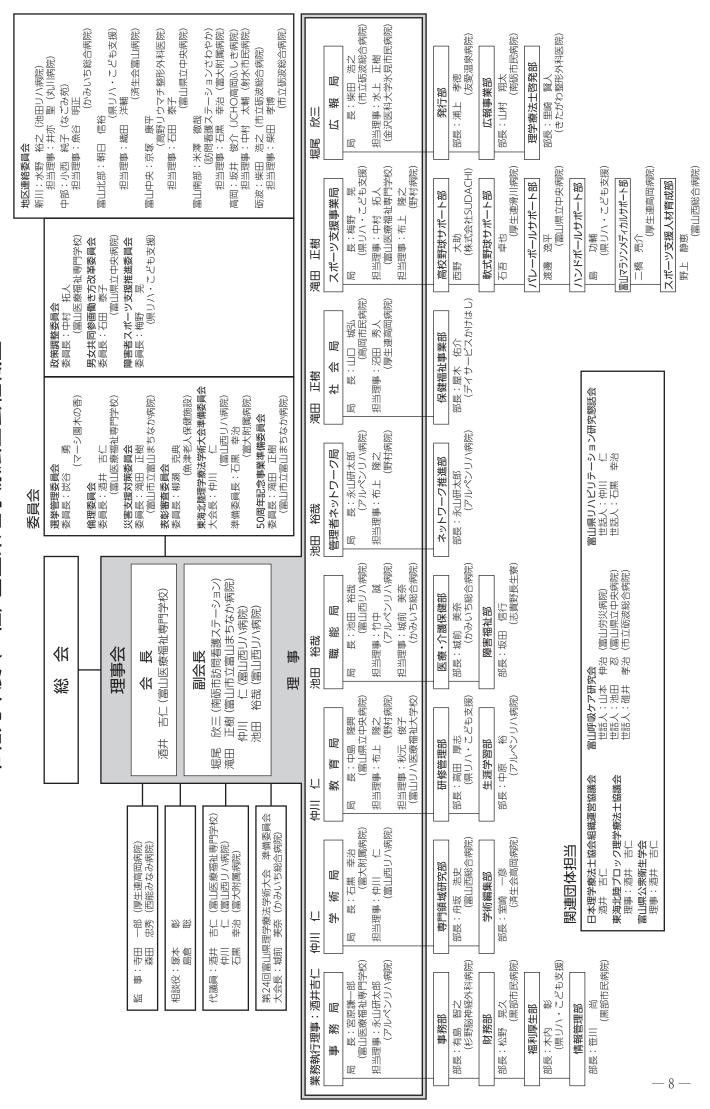
研修会風景

講義の後、栄養補助食品の試食会も併せて行い、患者様や利用者様が利用されている栄養補助食品の味を実際に体感していただきました。参加者からは、アミノ酸を含む物はやや苦みが残ることや、フレーバーによって食べやすさが違い、実際に利用者様に勧める時に参考になったとの意見がありました。

リハビリ(運動)の重要性は言うまでもありませんが、リハビリ(運動)と並行して栄養管理もしっかりと行わないと十分なリハビリ(運動)効果は得られないばかりか、逆効果になることも考えられます。今回の研修会を通して、栄養面の大切さ改めて感じるよい機会になりました。

今年度の高岡地区連絡会の活動は、「栄養」・「摂食嚥下」・「生活期(在宅)」を年間テーマとして掲げ、研修会を開催していく予定です。病院、施設、在宅に携わる会員の皆様に役立つ取り組みにしていきたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い致します。

令和元年度 (一社) 富山県理学療法士会組織図



専門領域 伽

専門領域研究部は7つの研究会にわかれ、それぞれの研究会が県士会員の知識、技術の向上を目的に研修会を企画・運営しています。また各研究会で勉強会や研究活動も行っています。 どの研究会も活発に活動していますので、興味あればぜひ参加してください。

一度見学してみたいという方は、下記の連絡先までお問い合わせください。

専門領域研究部 部長

富山西総合病院 リハビリテーション科 **舟坂 浩史** Tel:076-461-7700 mail:reha@toyama-nishi.jp

【内部障害研究会】

代表 守 雅之(金沢医科大学氷見市民病院)

内部障害研究会の活動内容は、呼吸器班と循環器班に分かれ、それぞれが持ち回りで自由な 勉強会を計画しています。加えて毎年開催している呼吸循環セミナーの企画・開催も行なって います。今年度のセミナーは「オーラルフレイルから身体的フレイルを紐解く」と題し、幅広 い視野で患者さんを診る為の知識と技術を身につける研修を企画しています。是非セミナーに お越しください。

内部障害研究会では、新たに参加する研究会員も随時募集中です。いろんな施設の先生とお話ししてみませんか?お持ちしております。

【**生活環境支援研究会**】 代表 **杉本** 勝(志貴野ホーム)

生活環境支援研究会は、住宅改修や福祉用具、地域における活動についてなどの研修会の企画・運営や、研究部内での勉強会を行っています。昨年度の研修会は「ボッチャで考える障がい者スポーツと理学療法」のテーマで、障がい者スポーツを通しての生活支援の関わり方を大阪府立大学の奥田先生に講義して頂きました。

会議や勉強会の実施場所は、主に呉西地区です。在宅支援や地域リハなどに関わる情報交換や疑問・問題点の共有や相談の場としても活用できればと考えています。

【神経研究会】

代表 高木 志仁(富山西リハビリテーション病院)

神経研究会は、脳損傷や脊髄障害などの神経理学療法の質の向上を目的に活動を行なっています。主に講師を招き、講習会の企画や、部内でのケーススタディーなどを年6~7回集まり行っています。幅広い年代のPTが複数施設から参加しており、情報交換や技術交流が可能です。脳血管を中心に神経理学療法に興味がある方はぜひご参加ください。

【運動器研究会 骨関節班】 代表 里崎 賢人(きたがわ整形外科医院)

運動器研究会骨関節班では、研修会のない月の第一火曜日に定期的な触診勉強会と企画会議

究部の紹介

を開催しています。勉強会では年間を通して運動器理学療法に必要な触診技術の練習を行っております。勉強会は自由参加ですのでお近くの骨関節班部員か代表に詳細をお問い合わせください。運動器理学療法に興味のある方や勉強会参加希望の方は是非ご連絡をお待ちしております。

【運動器研究会 スポーツ班】 代表 藤樫 和彦

(根塚整形外科・スポーツクリニック)

スポーツ班では、スポーツに関われる理学療法士の育成を目的として研修会を企画しています。研究会には、臨床にてスポーツ選手に関わっている方から、臨床では関わっていないがスポーツが好きな方、スポーツ選手以外の患者さんにも勉強した知識・技術を生かしたい方まで、幅広い先生方が在籍しております。

主な活動としては、研修会の企画・運営だけでなく、年数回の企画会議にて勉強会も行っています。少しでも、興味がある方のご参加をお待ちしております!

【物理療法研究会】

代表 增田 賢(富山市立富山市民病院)

物理療法研究会は、研究活動や学会発表等を中心に活動しています。研究・発表テーマに応じて研究会員同士でFollowやBack-upを行っています。

また、近年は他施設合同での研究を積極的に行っており、データ収集・解析等を研究会員内で行っています。物理療法を通じて高齢者からスポーツ選手など幅広い分野での研究等を行っております。物理療法に興味のある方、研究活動や学会発表を一緒に頑張って下さる方がおられましたら、どうぞお気軽にご参加ください。

【教育管理研究会】

代表 田中 勝(富山医療福祉専門学校)

教育管理研究会では、社会ニーズに応えられるように、理学療法の質の向上を目的とした卒前・卒後の理学療法教育やマネジメント等に関する研究支援、研修会を開催しています。

今年度からは、理学療法の質の管理や医療安全、情報管理等について、情報交換や問題解決を検討する勉強会を開催します。理学療法教育や部門の運営に興味のある方は、お気軽にご参加ください。

【理学療法基礎研究会】 代表 北山 佳樹 (山室クリニック)

理学療法基礎研究会では理学療法に必要となる知識や技術の基礎を学ぶために、研修会を企画・運営をさせて頂いております。各分野において精通することはとても大切なことですが、その土台には膨大な基礎的な知識が必要となります。解剖、循環、神経生理学等をしっかりと学ぶことで、臨床での疑問が解決し、新たな閃きやアプローチ方法の発見に繋がると思います。

令和元年度、一般社団法人富山県理学療法士会に入会された皆様を紹介します。令和元年8月末 現在、当士会事務局が入会を確認できている54名の新入転入会員の皆様です。

地区名	氏 名	所 属 名	地区名	氏 名	所 属 名
新川地区	松倉優貴			能登 こゆき	- おおりたが完 陸
	渋 谷 百 恵	丸川病院	富	小林 みさき	西能みなみ病院
	横道詠二		山	佐 伯 知 紀	桜井病院
	清水賢也		南	谷口 涉	老人保健施設 かがや
	吉島康祐	・ 池田リハビリテーショ ン病院	部	高辻武瑠	介護老人保健施設 み どり苑
	松尾圭祐		地	山本琢寛	富山老人保健施設
	成瀬友洋	深川病院	区	中村 茉里香	誠友病院
富山北部地区	吉田 昌矢	アルペンリハビリテー ション病院		関 川 武 志	老人保健施設 白雲荘
	岩木 翔兵	富山協立病院		東 辰好	射水市民病院
	中 村 響	成和病院		島 雅貴	光ヶ丘病院
	青石麻愛	富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター		越野凌平	厚生連高岡病院
中	堀内柚希	- 藤木病院	高	福井規人	
部地区区	竹 下 祐 樹		岡	近村 綜一郎	汝此人古团造版
	山本竜平	 	地	常川真佑	済生会高岡病院
	山田千輝	字生)	区	余 川 颯	リハハウス来夢
富	森川 実可子	富山市民病院		関川 春香	中村記念病院
山山	加藤清孝	杉野脳神経外科病院		七徳 のぞみ	
中 央 地 区	藤田栞奈	島田病院		水 落 秋 里	結リハビリ訪問看護ス テーション
	臼井 日奈子	西能病院		野竹竜生	公立南砺中央病院
	近堂友美	西能クリニック	砺	畠 山 冴 子	市立砺波総合病院
	泉野直紀	富山県立中央病院	波	清澤拓朗	砺波誠友病院
	荒見絢哉		地	清都義之	
富山南部地区	越森優人	富山西総合病院	区	折田智哉	介護老人保健施設 城端うらら
	竹倉有希			大兼政 秀斗	南砺市民病院
	水口辰哉			新 千 奈	(自宅)
	向川聖也	富山西リハビリテーショ		清水杏子	(11 11)
	奥野翔子	ン病院			
	杉本美奈				



標準理学療法研修会 1 「吸引基礎講習会」一次救命措置と基本処置



MOTOR IMAGE CONDITIONING 島田 和寛

令和元年5月12日(日)に富山県立中央病院で開催された、富山県士会主催の研修会に、5年ぶり2回目の参加をしました。

本研修会は4部構成となっており、①一次救命措置と基本処置(PT)②吸引に関する解剖 生理と病態生理(Dr)③吸引手技の実際と注意点(Ns)④セラピストと吸引行為(PT)につ いて学習しました。

①では、臨床であった経験談を交えての一次救命措置のお話を聞き、また、セラピストの観点からいかに排痰を行うか考える機会をいただきました。

②では、基本的な「気道系の解剖」「呼吸生理」「呼吸不全」「喀痰総論」について、分かりやすい講義をしていただきました。

③では、座学後に2班に分かれて実技を行いました。吸引器の取り扱いだけでなく、実際にペアワークで吸引を行う参加者もいました。

④では、セラピストが吸引を行う必要性や呼吸 のみかた、エビデンスを交えた呼吸理学療法等に ついて教えていただきました。

今回、新人からベテランまで経験が様々な 45 名の参加があり、県内だけでなく石川県や新潟県からも来られていました。呼吸は、人間が生きていくうえで必要なことです。どの分野で働いていたとしても、必須事項だと考えます。非常に勉強になる内容のため、ブラッシュアップとしてまた受講したいと思います。



講義の様子



「生涯学習研修会 必須研修 1」に参加して

厚生連高岡病院 福井 規人

令和元年7月14日(日)に厚生連高岡病院で開催された「生涯学習研修会 必須研修1」に参加しました。内容は「理学療法と倫理」「協会組織と生涯学習システム」「リスクマネジメント」「人間関係および接遇」「理学療法における関連法規」といった、理学療法士として業務をするものにとってこれらの項目は非常に重要なものでした。

「理学療法と倫理」では、理学療法士という医療専門職種に求められる基本姿勢を学びました。「協会組織と生涯学習システム」では、協会組織の概要、生涯学習活動の流れ、新人教育プログラムの目的、内容ついての説明を受け、医療専門職種として高い専門知識と技術の習得と研鑽を生涯にわたり継続する必要があると思いました。「リスクマネジメント」では、医療事故の定義、インシデントの対応、感染管理と予防、BLS などの説明がありリスク管理の重要性を再認識し、対応について再確認することができました。「人間関係および接遇」では、理学療法士の接遇(身だしなみ、言葉遣い、電話・メールのマナー)、コミュニケーションツール(SBAR、CUS)、ハラスメントの種類などの説明があり、職場では必ず人間関係、ルールが存在し、これらを円滑にするためには今回教わった接遇、コミュニケーションツールを活用し

ていければと思いました。「理学療法における関連法規」では、守秘義務、名称独占、医療法、介護保険法、労働関連法についての説明があり関連法規ならびに職業倫理規定の遵守、就業規則を熟知することで、関連職種・機関の信頼を獲得し、業務を円滑に進めることができると思いました。

今回の研修を通して、理学療法士という職業を見つめ直す良い機会になったと思います。現状に満足せず、日々自己研鑚を続けていければと思います。



講義の様子



理学療法基礎研究会主催 「解剖学・運動学の必要な理由」

富山市立富山市民病院 谷 佳 祐

令和元年 5 月 18 日(土)、富山リハビリテーション医療福祉大学校にて「解剖学・運動学の必要な理由」と題して、山室クリニックの北山佳樹先生、北野雅之先生にご講演頂きました。内容は、北山先生からは足関節の解剖、運動学、簡単な評価方法、北野先生からは膝関節の解剖、運動学、評価方法や治療方法等を講義していただきました。どちらも学生時代には学校では習わなかったような細かな解剖・運動学について、また、それらを日々の理学療法業務にど

う活かしているのかについて講義され、短い時間でしたが内容の濃い研修会でした。

解剖学や運動学等、理学療法を行う上でどんなことでも基礎が重要であると改めて実感できる研修会でした。講義の中でもありました「患者さんに感動を与える仕事」について今一度日々の臨床でのアプローチ方法や考え方を変えていきたいと思いました。



講演の様子

スポーツ支援事業報告~富山県高校総体 バレーボール競技~



富山県立中央病院 渡辺 逸平

令和元年 5 月 26 日 (日)、6 月 1 日 (土)、2 日 (日)の3 日間、高校バレーボール総体が県内各地で開催され、延べ6 名の PT の先生方にスポーツ支援事業にご参加いただきました。

今大会は3日間で延べ42人の選手がサポートを利用され、前回春季大会の30人を上回りました。ご多忙の中ご参加いただいた先生方には本当に有難く思っています。また、2名の見学者の先生方にも感謝申し上げます。

さて、私が参加した6月2日のお話を少しさせていただきます。

最終日は準決勝、決勝のみなので、男女合わせて8チームで計6試合がありました。参加チームが少ないにも関わらず、連戦のためか比較的急性期の外傷・障害の選手がおり、今大会何度もテーピングを巻いてもらっているという選手もおりました。また、中には指・腰・足関節等、複数個所のテーピングを希望される選手もいました。

それぞれの選手と、「昨日のテーピングと同じので、もう少し緩めでお願いします」や「昨日のより足首を制限しない感じで」など適宜相談し、調整しながら対応させていただきました。

選手がトレーナー室の前で行列になってしまうため、テーピングを巻いた後の効果判定に時間をあまり割けていないのですが、時間があるときに試合を見学させていただき、選手の動きを見て、喜んだり反省したりしています。

このように、スポーツ支援事業は普段の臨床とまた違った喜びを感じることができます。働き方改革が叫ばれる時代に逆行して、ほとんどボランティアで休日を潰すことになってしまうかもしれません。しかし、必ず日々の臨床につながると思いますし、是非無理のない範囲でご参加いただけたら幸いです。

次回はいわゆる"春高バレー予選"となる秋季大会が9月、11月に行われます。皆様のご参加 をお待ちしております。



スポーツ支援事業部企画 第1回テーピング研修会

富山西総合病院 野上 静恵

令和元年6月12日(水)に、スポーツ支援事業部企画の第1回テーピング研修会を開催し、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターの梅野晃先生にご教示を頂きました。内容は、足関節のテーピングを中心にテーピングの目的や意義、注意点について実技を交えて細かくご指導して頂き、大変学びの多い研修会でした。またテーピングを巻いた前後での動作の観察ポイントなども紹介して頂きました。テーピングを行う際に大切なことは、正しい手順できれいに巻くことだけでなく、より効果的なテーピングを行うために1本1本のテープに目的



実技の様子

を持って巻くということを教えて頂きました。「ホースシュー」や「スターアップ」など基本的なテーピングを1つ取っても、動作のどの相でテーピングの効果を期待するかによって、テープの走行や本数を工夫する必要があることを知りました。

実技練習では参加者数名ごとにスポーツ支援事業部員がアドバイスを行い、細かい部分を確認しながら指導を行いました。参加者からは「いつも苦手な部分のコツが聞けてよかった」「テーピングは難しいけど面白いですね」と大変好評でした。

スポーツ支援事業部では今年度の秋にもテーピングの研修会を企画しています。次回は実際の症例を提示し、より実践的な内容を予定しています。普段はなかなかスポーツ疾患に携わる機会がない先生方にも、スポーツ現場をイメージしながら学ぶことができる内容となります。 多くのご参加をお待ちしております。

また勉強会以外の各派遣事業においてもサポートの合間にテーピングなどの実技練習を行っていますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。



管理者ネットワーク推進部主催研修会 「理学療法士のこれからの働き方セミナー 伝達講習会」

管理者ネットワーク局 局長 永山 研太郎

令和元年6月15日(土)に富山西リハビリテーション病院にて、管理者システム推進部主催富山県理学療法士連盟委託事業の研修会が開催されました。この研修会は、理学療法士のこれからの働き方セミナー伝達講習会として、いま泉病院の納藤和浩先生から「介護医療院で理学療法士に求められる4つの役割」について、にしの老人保健施設の永澤崇一先生から「介護老人保健施設で求められる理学療法士の役割」について、ご講演をいただきました。

納藤先生からは、介護医療院という「住まいと生活を医療が支える新たなシステム」の概要に始まり、2025年に向けての地域医療構想による70万人の看取りを担うべく、介護医療院には「ACP(人生会議)」が義務付けられていると話がありました。今後、10万床まで増床の予定であるが、富山県には既に1万床あり、全国トップ5に入っているとのことです。介護医療院は、「病院の中に家がある」がコンセプトであり、尊厳を保証する生活施設として、看取り対応・生活の場・参加の視点でリハビリテーションが求められるそうです。4施設の取り組みを例に挙げ、理学療法士に必要なスキルとして「コンセプチュアルスキル(概念化能力)」があ

るため、新人ではなく、回復期病棟の経験を3 年以上積んでから配置する体制になっていると のことでした。

永澤先生からは、介護老人保健施設の役割である「在宅支援」と「リハビリテーション機能」の二本柱について、もともとあった機能が特養化していた為、元の機能に戻したとの経緯を話されました。2040年問題に向けて徹底的な改革が必要とされ、3段階(従来型・加算型・在宅強



講義の様子

化型)から更に細分化されて5段階となり、全て点数で分けられるとのことです。今後は科学的な効果に裏付けられたリハビリテーション・介護が求められるようになり、リハビリテーションでは現在VISTが導入され、介護分野では2020年からCHASEが始動し、プロセス管理のデータベースによって、「国民に効果を見える化」する取り組みが進められているとのことです。

今回の研修会で、それぞれの施設基準によって理学療法士の役割は大きく異なりますが、向かっている方向は全て同じだと気づかされました。また各領域での経験値をお互いに活かし合い、理学療法士の職域をみんなで理解し、リハビリテーションの効果を発信することが重要であると感じました。

管理者ネットワーク推進部主催研修会 『「協会の求める管理者像」各都道府県における 士会組織化の方向性と管理者の教育体制』



管理者ネットワーク局 局長 永山 研太郎

令和元年6月29日(土)に富山県民会館にて、管理者システム推進部による「協会指定管理者初級研修会」が行われました。平成31年1月19日に引き続き同じ内容で開催され、小川克己先生のDVD動画による講義に始まり、県士会会長の酒井吉仁先生にもご登壇頂きました。

小川先生からは、協会が期待する都道府県市会組織強化と管理者のネットワーク化について、「地域包括ケアシステム」「質の向上」「危機管理」「職能団体として発言力強化」の側面からの組織体制の重要性を説明されました。併せて協会組織と士会組織の関係の中で、管理職が一個の共同体として地域の実情に応じた生活圏域をカバーし、それぞれの意思決定レベルにおけるマネジメント機能を発揮してほしいと呼び掛けがありました。

酒井先生からは、当会の二次医療圏 7 つのブロック(高岡地区・砺波地区・富山北部地区・富山中央地区・富山南部地区・中部地区・新川地区)と領域(急性期・回復期・生活期、教育、その他)の組織体制を示され、今後推進していく「横のつながり」の重要性の説明がありました。また療法士の教育体制強化の必要性と管理者ネットワークの目的である①管理者能力の強化②組織対応範囲の充実③医療・介護の再編に対する対応能力の強化について話していただきました。



講義の様子

今回の研修会では、専門職として、また管理職として日々多忙な業務に追われる中で、徐々に視野が狭くなっていることを実感し、身が引き締まる思いで拝聴しました。「個人の力を組織が支えてくれる」、そんな管理者ネットワークを築き、職能団体の強みをもっと前面に押し出した活動を目指したいと強く感じました。

協会指定管理者 職域別研修会



職能局 局長 池田 裕哉

令和元年6月29日(土)に富山県民会館におきまして、協会指定管理者職域別研修会を開催いたしました。本研修会は、県内の各病院・施設の管理者を対象としており、参加者は職域別(急性期・回復期・地域包括ケア病棟・生活期)に分かれて、東京で開催された管理者中央研修会に参加した8名の講師による講義とグループワークを受けました。

参加人数は、急性期6名、回復期5名、地域包括ケア病棟8名、生活期13名でした。

内容としては、それぞれの職域における、制度、教育、管理・運営などについての講義とテー

マに基づいての各病院や施設での現状や課題等 をグループワークで話し合いました。

参加者からは、「管理者として日頃の悩みを他の施設の同じ立場の方と共有・相談できて良かった。」「他の施設の管理者の方と顔見知りとなれたので、今後も連絡を取って情報共有をしていきたい。」などの声が聞かれました。

今後も、管理者間のネットワークの強化を図っていけたらと思います。



グループワークの様子



運動器研究会スポーツ班主催研修会 参加報告

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 朝野 隼輔

令和元年 6 月16日(日)、富山県リハビリテーション病院にて運動器研究会スポーツ班主催の研修会が開催され、参加いたしましたのでご報告させていただきます。今回は富山県総合体育センターのスポーツ専門員である柿谷朱実先生をお招きして「競技復帰に向けたリハビリテーション」という題で講演していただきました。

柿谷先生は米国アスレチックトレーナー協会認定アスレチックトレーナー、米国ストレングス&コンディショニング協会認定ストレングス&コンディショニングスペシャリストの資格を有しておられ、過去には東京の国立スポーツ科学センターでご活躍されたご経験もあります。 現在も様々な競技団体、県選抜チームに携わっておられ、大会遠征に帯同する際に心がけておられることや、選手とのかかわり方の注意点などもお話ししていただきました。

研修会は前半1時間が講義であり、後半3時間は実技が主体でした。講義では、アメリカと日本のトレーナーの違い、日本でのチーム遠征帯同のお話、先生が考えるトレーナーの資質についてお話しいただきました。実技では、先生が実際に現場で行われているウォーミングアップをご指導頂き、受講者全員で行いました。また、ウォーミングアップの方法だけでなく、動作の評価ポイントを学び、実際に評価する練習も行いました。受講者同士でペアを組み、ウォーミングアップ動作の観察内容をペアの相手にフィードバックし、動作修正に繋げるという過程



を繰り返しました。動作を評価するポイント、 フィードバックにおける声のかけ方などは、普 段の臨床にも通ずるものがあると感じました。

今回の研修会を通して、トレーナーとしての 在り方はもちろん、次の日から臨床に活かせる 視点まで学ぶことができ、大変充実した研修会 でした。

実技の様子



地域リハビリテーション支援体制と地域ケア会議・介護 予防事業のための人材育成研修会に関する活動報告

社会局 局長 山口 城弘

今年度から富山県の地域リハビリテーション(以下、リハ)支援体制が構築されました。 支援内容は主に地域ケア会議と介護予防事業です。依頼と実施の流れは、市町村・地域包 括支援センターの依頼に対して、地域包括サポート支援センター(以下、ケアサポ)が窓口 となり協力機関と連携してPT・OT・STのリハ専門職が派遣されます。地域差はありま すが、県内では2年前からモデルとなる市町村を選定して、事業が展開されています。近 年、治す医療から治し支える医療ヘシフトしており、今後益々生活期に携わるPTが求め られております。これら社会のニーズに対応するために、昨年度、富山県高齢福祉課から 人材育成を目的とした研修会の企画運営の依頼が富山県リハ専門職協議会にあり、今年度、 県士会と合同で2回の研修会を開催しましたので以下に報告します。

令和元年6月23日(日)、富山県総合体育センター大会議室にて地域ケア会議をテーマに研修会を開催しました。内容は、①DVD視聴 ②模擬地域ケア会議 ③明日から使える地域ケア会議の専門職としての心得(以下、心得)の3部構成です。

模擬地域ケア会議では、城前美奈先生(かみいち総合病院)、吉岡慎司先生(南砺市民病院)、

水上正樹先生(金沢医科大学氷見市民病院)、にファシリテーターとして助言して頂き、1グループ5~6名で模擬ケースについて適切なケアプランを検討しました。普段のケースカンファレンスと違い、紙面情報からケースをイメージして在宅で生活している方に対するケアプランについて意見やアドバイスを行う事は難しいのでは?と思いましたが、予想以上に活発な意見交換が行われていました。

心得では、滝田正樹先生(富山市立富山まちなか



グループワークの様子

病院)から助言して頂きました。まずは他職種から見られている意識を持ち言葉遣いや身なりに注意する事、お互いの意見を尊重する事など、会議を円滑に進めるコッを学びました。参加者は、PT37名、OT33名、ST13名、合計83名でした。地域ケア会議に携わったことのない会員は約4割おられました。

令和元年7月14日(日)、高岡市ふれあい福祉センター多目的ホールにて介護予防体操教室 見学会を高岡市高齢介護課の後援を得て開催しました。内容は、①介護予防体操教室見学会 ②介護予防体操教室を行う上でのコツ及び注意点の説明(以下、指導のコツと注意点)、の2部 構成でした。

介護予防体操教室見学会では屋木佑介先生(デイサービスかけはし)に実演して頂きました。 実際に地域住民の方に指導する場面を見学する事は新鮮で、お笑いで言う「つかみ」や参加者 とのコミュニケーションや間の取り方によって会場の一体感を作る事など臨場感が伝わったと 思います。

指導のコッと注意点では、蟹谷江里子先生(氷見市福祉介護課)、谷要吏子先生(エルダーヴィラ氷見)から助言して頂きました。地域の中では、体操指導をこなすだけでは不十分で、住民が自立支援の意識を持って、参加する事を楽しんで、また来てみたいと思えるきっかけを作る役割がPTに求められている事を学びました。

参加者は、住民27名、包括 4 名、富山県 1 名、高岡市 1 名、PT26名、OT19名、ST 7 名、合計85名でした。アンケート結果から、満足度は80~90%と高く「実際の指導場面を見る事が出来てよかった」「話の間や対象者に合わせた対処方法、雰囲気づくりなど勉強になった」「今後各地域でこのような企画を開催してほしい」などの感想が寄せられました。



講義の様子

今後は、地域ケア会議と介護予防事業に関する研修会をもう1回ずつ開催する予定ですので、詳細が決まり次第ご案内致します。まだ参加されていない方、特にケアサポート・協力機関の指定を受けておられる施設の方のご参加をお待ちしております。



シルバーリハビリ体操公開講座 活動報告

デイサービス&フィットネスRE-SH 津川 美子

令和元年7月14日(日)、富山市まちなか総合ケアセンターにて、シルバーリハビリ体操公開 講座が開催され、保健福祉事業部からスタッフとして参加しました。今回の講座は、一般の参 加者さん向けの教室開催ノウハウを学んでいただくことがテーマでした。富山県でも、基幹病 院などが連携していよいよ地域リハビリに力を入れていくための活動がスタートとなります。

集団の参加者のやる気を引き出し、いかに継続させていくかについて、在宅福祉総合センター

きずな施設長の染谷明子先生が、前半はプロジェクターを活用しエビデンスを、後半は実践を 交えて、シルバーリハビリ体操の紹介を行いました。参加したセラピストの方々は熱心にメモ

を取ったり、動画を撮影したり、体感しようと 参加者と一緒に身体を動かしたりと、各職場へ それぞれ持ち帰ってくれたように感じました。

日本理学療法士協会から、健康寿命を延ばすためにシルバーリハビリ体操を普及させていきましょうという通達が出されていることも、なかなか現場には届いていないのが現状です。全国に先駆けて『身体を動かすことを通して心に触れる』という想いの詰まったこの体操を、県内各所へ広めていきたいと思っています。



体操指導の様子



神経研究会主催研修会 「脊髄損傷に対するリハビリテーション」

富山西リハビリテーション病院 水口 辰哉

令和元年6月30日(金)に富山西総合病院にて、神経研究会主催の研修会が行われました。「脊髄損傷に対するリハビリテーション」をテーマに、中部労災病院の江口雅之先生、名古屋大学院医学系研究科助教授の長谷川隆史先生よりご講義を頂きました。江口先生は完全脊髄損傷に対する評価と治療に関して、長谷川先生は不全脊髄損傷に対する評価と治療に関して、治療時の動画や先生方の担当された症例に対する評価や治療時の考え方などを分かりやすく丁寧に解説して頂きました。

今回の研修会では脊髄損傷の疫学、評価、治療、予後についてなど脊髄損傷に対するリハビリテーションを深く知ることが出来、とても勉強になりました。脊髄損傷の患者様に対してリハビリテーションを行う際には、今回教えて頂いた事を活かして行こうと思います。

専門領域研究部運動器骨関節班主催研修会 『腰椎・仙腸関節のマルアライメント・ 機能不全の評価と治療』



運動器研究会骨関節班 代表 里崎 賢人

令和元年8月17日(土)、18日(日)に富山西総合病院にて、広島国際大学総合リハビリテーション学部リハビリテーション学科教授の蒲田和芳先生をお招きして、『アスリートの腰痛骨盤痛におけるリアラインセラピー~腰椎・仙腸関節のマルアライメント・機能不全の評価と治療~』というテーマでご講演いただきました。42名の参加者があり、実技を交えた講義で参加者と講師の距離も近く、多くの知識や技術に触れることができた研修会になりました。

腰痛・骨盤痛の解釈に必要な機能解剖や精密な触診技術、精密な触診に基づいた各種の評価 手技、一定のコンセプトに基づいた臨床推論から導かれる治療選択、効果判定を意識した治療 技術など、多くのコンテンツを科学的根拠と臨床経験の両面からお話いただきました。実際、 この2日間では足りないほど充実した内容であったと感じます。

特に、講義の中でリアラインコンセプトによる治療技術のデモンストレーションが充実して おり、実際の治療場面を間近でみることで技術イメージをもって実技習得の一歩になりました。



実技の様子

しかし、実技を経験している中で、実際触れるべき部位の解剖イメージや触知感覚のさらなる 習熟が必要だと改めて感じ、今後も修練を続けていこうと思いました。

さて、今年度の運動器研究会骨関節班では、毎月第一火曜日に県士会員であればどなたでも参加できる勉強会を開催しております。興味のある方は、骨関節班メールundoukipt.toyama@gmail.comまでお問い合わせください。

【日本理学療法士協会からのお知らせ】

「第55回日本理学療法学術大会2020 in おおいた」の開催案内のお知らせが届いています。 詳細は大会HPでご確認してください。

研修会名:第55回日本理学療法学術大会2020 in おおいた

日 程:2020年5月23日(土)~24日(日)

場 所:別府国際コンベンションセンター B-CON PLAZA (ビーコンプラザ)

〒874-0828 大分県別府市山の手町12番1号

ホームページ: https://convention.japanpt.or.jp/nichiken/55/index.html



リレーエッセイ



「仕事をサッカーに例えて」

七美ことぶき苑 平井 俊輔

高校時代、共にサッカーで汗を流した南PTより紹介いただきました。この縁を大切に し、近況をサッカーに例えてリレーエッセイを書かせていただきます。

○移籍してから3年目を過ごしている。当初、監督(施設長)から与えられた指示は、 『点を取れ(利用者様を増やせ)」だった。同時期に加入した看護師とツートップを組み2 人で点数を取り、結果を出した・・・はずだった。振り返るとチームメイト(他職種)が いない・・・。サッカーは団体スポーツ(他職種連携)であることを忘れていた。

しばらくして、チームに腰痛予防プロジェクトという作戦ができた。他職種を主将(リーダー)とする、福祉用具(リフト・ボード・シート等)を活用した介助にて、チームの腰痛軽減と利用者様に安心・安全・安楽な介護サービスを提供する作戦である。これを機に、 花形(世間一般的には)である点取り屋を他職種に任せ、チームバランスを調整する、言わば司令塔の様なポジションに変更した。

実際、福祉のフィールドで司令塔としてどうチームに貢献できるか。それは、評価である。ただ闇雲に点数を取りに行っても、効率が悪く疲弊し良いパフォーマンスが発揮できない。利用者様も見ていて(サービスを受けていても)面白くない(満足しない)。どうしたら満足していただけるかを評価し、根拠を持って皆で点数を取りに行く。そうすれば、きっとチームも良い内容でサッカーができる。これができるのがPTだと思っている。

□

そんな感じでチームメイトと日々走り続けている。ただ、最近体重が増えて、走ると息切れが半端ないので、とりあえず 6 キロ程痩せようと思っている (笑)。



インフォメーション

~あなたならどつち?~

約20年ぶりに、PT養成の規則が変わるって。







養成校も急増してますしね。

若手PT

大学、専門学校、3年制。違いは出てきちゃうよね。





学校側の問題ですか?

いやいや、臨床も。実習の無資格診療とか、ストレスとか。





実習の苦労を思い出します・・・。

昔はレポート三昧で睡眠2時間。いまだに自慢げに言っちゃう人もいるらしい。





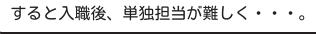
先日来てた学生さんに言っちゃいました・・・。







うちは担当制ではなく、診療補助で経験重視です。







即戦力的な思考は捨てて、臨床出てからの教育が 大事になりますね。 実習指導は講習受講が条件となり、2021年には生涯学習制度も新しくなる。卒前卒後教育が変わる予感・・・。





協会HPに専門・認定PTの他に、「登録PT」っていうのも発表されてましたね!

お?よく知ってるね。大きく変わる今だからこそ、 情報は得ておかないと。





県士会の研修会案内などのFAXも、なくなる方向ですよね。

個人へのメール配信「すぐメール」に切り替わってくよ。





職場の人数が多いからFAX回ってこないし、紛失してるときもありますもんね・・・。

ちなみに、メール登録したの?





まだしてないです・・・。 みんな登録してますかね?



現時点で、会員の半数くらい登録してるよ。



今すぐ登録します! 他の施設の先生方にも、声を掛けてみます!



情報が得られる会員と情報が得られない会員。 同額の会費を払います。君ならどっち?

臨床実習指導者講習、年明け開催予定。 新しい生涯学習制度(登録PT)についてはHPを。 そして、「すぐメール」はぜひ登録を!



教育局からのお知らせ

高速一斉メール配信サービス 『すぐメール』への登録のお願い

今年度に入り何度もご案内させていただいております通り、富山県士会では高速一斉メール 配信サービス『すぐメール』を導入しております。このシステムでは、有事の災害緊急メール、 富山県士会主催の研修会・事業案内、緊急連絡等として活用させて頂く形となっております。

これまで県内の連絡ツールの中心であったFAX通信は、今後は重要事項の周知や緊急連絡時の使用のみにとどめ、研修会・事業案内は『すぐメール』での案内のみに移行していく予定となっております。通信費の削減のため、ご理解とご協力をお願い致します。

つきましては、富山県士会員の皆様には『すぐメール』へ近日中にご登録いただきますよう、 よろしくお願い申し上げます。

1. 登録手順

登録手順① 登録アドレスから『t-tpt@sg-m.jp』に空メールを送信

手順② 返信メールが届く。(届かない場合、ドメイン設定を再度確認)

手順③ 案内に従い、登録フォームに必要事項を入力し登録完了。

※ 会員番号は8桁の番号で、免許番号とは異なります。

2. 登録上の注意点

※お一人につき登録アドレスは1件のみ。職場アドレスはご遠慮下さい。

- ※災害時緊急連絡の観点より可能な限り携帯電話のアドレスを登録。
- ※登録手順の前にドメイン受信許可設定『@sg-m.jp』
- ※Yahoo!メールのアドレスでは、不具合が確認済のため極力お避け下さい。

3. 問い合わせ

不明な点などありましたら下記の責任者までお問い合わせ下さい。

一般社団法人 富山県理学療法士会

教育局担当理事 包括的会員管理システム管理者

医療法人社団 尽誠会 野村病院 リハビリテーション課

布上 隆之 E-mail: nomura reha@yahoo.co.jp

令和元年度 富山県理学療法士会賛助会員名簿

賛助会員名	宮 郵便番号	住 所	TEL	FAX			
学校法人 青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校							
	〒 930-0083	富山市総曲輪 4 - 4 - 5	076-491-1177	076-491-1178			
株式会社	ウィル						
	〒 939-0311	射水市黒河3075	0766-56-7099	0766-56-3395			
株式会社	富山県義肢類	製作所					
	〒 930-0042	富山市泉町1-2-16	076-425-4279	076-425-4587			
金城大学	大学 医療健康学部 理学療法学科						
	〒 924-8511	石川県白山市笠間町1200	076-276-4400 (代)	076-275-4316			
富山医療福祉専門学校							
	〒 936-0023	滑川市柳原149-9	076-476-0001	076-476-0002			
				(五十音順)			



- 発行部の皆様の話になかなかついていけませんが、少しずつ頑張ります! (N.K)
- PTとしても親になる身としても頑張ります! (N.A)
- 紅葉を見に山を散策したいです。(H)
- 紅葉狩りに行きたいです。(A)
- とやまマラソンに向けて頑張ります。(T.Y)
- 最近、腰や膝が痛くなってきました。気が付けば今年で45才、まだまだ頑張らないと。(M.M)
- 最近、車の調子があまり良くない。そろそろ買い替えかな? (H.S)
- キャンプの季節!心も身体もリフレッシュしたい…。(T.I)
- 新しい家に引っ越して気分が晴れ晴れです。(S.U)
- おわらの季節が終わりました。あとは冬眠します。(O)
- 「トレイルランニング」ご存知ですか?楽しいスポーツですよ。興味ある方は是非ご一緒しましょう! (T.U)



2019.9.25

一般社団法人 富山県理学療法士会

●936-0023 富山県滑川市柳原149-9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内

TEL: 076-476-1716 FAX: 076-411-6321

発行人:酒 井 吉 仁 編 集:浦 上 孝 徳 印 刷:志 貴 野 苑

士会URL:http://toyamapt.umin.ne.jp/ 事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp